

～室内活動～

# 貝皿クラフト

福岡市海の中道青少年海の家  
2022年12月6日改訂

## 1.活動概要

北海岸で集めた貝殻などを紙皿に貼り、オリジナルの作品を作ります。

## 2.めあて

【自然に学ぶ】

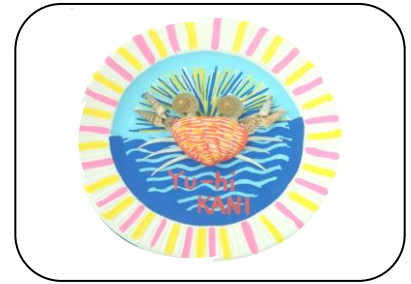
○(本物に触れる)

・貝殻に触れることで貝の形・色・模様など、貝にも多くの種類、名前があることを学ぶ。

【自分を高める】

○(感性・創造力)

・貝殻の形や色を活かした工作を行うことで創造力を高める。



## 3.準備

【1】準備物

**海の家**：見本、貝殻(荒天時などで拾いに行けない場合)

**団体**：

救急用品、新聞紙、紙皿(深さのないもの・直径18cm程度のもの)、木工用ボンド、飾りつけに使用できそうなもの、ポリ袋2枚(貝殻集め用・持ち帰り用)、着色に必要なもの(水性ペン・油性ペン など)

【2】引率者の役割

- 活動の流れの説明またはサポート
- 北海岸での安全管理
- 道具などの管理
- 制作・片付けの指導

【3】班編成

6人程度

## 4.実施上の留意点

- 北海岸入口は施錠しているため、引率者が施設職員の許可を得て入場する。  
※北海岸入場可能時間(9:00~17:00)
- 北海岸の海は、立入及び遊泳禁止のため、引率者が責任をもって研修生の安全管理をする。  
※北海岸での諸注意
  - ① 海に入らない。
  - ② 裸足にならない(サンダル不可)。
  - ③ 危険な漂着物や生き物には触らない(液体の入った容器・注射針・ヒョウモンダコなど)。
  - ④ 砂を投げたり、蹴ったりしない。
- 特に夏季は、北海岸での熱中症に注意する。
- 貝殻を拾いに行けない場合は、施設にある貝殻のストックを使用して活動ができる。
- 木工用ボンドは、乾くまでに時間がかかるため乾かす時間を確保する。
- リボンや穴開けパンチなどを持参すれば作品を壁掛けにすることができる。
- 北海岸での活動終了後は、衣服や靴についた砂をよく落とし、館内に持ち込まないようにする。

## 5.活動のながれ

◎…引率者の動き ○…研修生の動き ▼…施設職員の動き

目安時間	活動内容	留意点
全体説明 (5分)	▼活動の説明と北海岸での諸注意をする。 ○話を聞く。	※活動範囲・集合時刻・集合場所を決めておく。
貝殻集め (30分)	▼北海岸へ引率・見守りをする。 ○ポリ袋を持って北海岸へ移動する。 ◎活動範囲・集合時刻・集合場所を伝える。 ○貝殻を集める。 ◎北海岸で安全管理を行う。  ▼砂落としについて説明する。 ○砂落としをする。 ◎活動部屋へ引率する。 ○活動部屋へ移動する。	●絶対に海に入らないように注意する。 ●危険な漂着物や生き物には触らせない (液体の入った容器・注射針・ヒョウモンダコなど)。 ●砂を投げたり、蹴ったりさせない。  ●北海岸入口の芝生の上で、衣服や靴についた砂を落とさせる。
道具の配付 (5分)	○新聞紙を机の上に敷き準備をする。 ◎紙皿など持参した材料を配付する。	
制作 (60分)	○貝殻を木工用ボンドで紙皿に貼り付けていく。 	●制作が終わった研修生から片付けさせる。
道具の回収 (5分)	◎道具の回収をする。 ○道具を返却する。	●施設の貸出物品がある場合は、数を確認する。 ●床や机の上に砂などが残らないようにする。
片付け (10分)	◎片付け指導をする。 ○室内にある掃除道具を使って掃除をする。 ◎活動部屋の最終点検をする。	●床や机の上に砂などが残らないようにする。 ●机を床の印に揃えて並べる。 ●余った貝殻は持ち帰るか、施設の貝殻ストック箱に入れる。 ※ストック箱に入れる貝殻は、顔料や木工用ボンドなどがついていないものに限る。 ※ストック箱へは、大・中・小に分けて入れる。
まとめ (5分)	▼まとめを行う。 ○話を聞く。	●完成作品は、ポリ袋に入れて持ち帰る。 ※木工用ボンドが十分に乾いていない場合は、作品を置いておく場所を確認する。

- a. 対象学年 : 小学生以上 ※未就学児は要相談  
b. 定員 : なし  
c. 関連教科 : 図画工作科、美術科、理科  
d. 実施可能時期 : 通年  
e. 実施可能な天候 : 全天候 ※荒天時は、貝殻のストックを使用  
f. 所要時間 : 2時間程度  
g. 実施場所 : 北海岸及び活動部屋

